

平成21年度 事業報告

平成21年度は、平成22年12月の東北新幹線全線開業に向けて、当協会会員、観光関係企業団体や市民を対象に新幹線開業効果とその対応策等の新幹線効果活用フォーラムや講演会を開催し気運醸成に努めた。また、1月には津軽地域観光協会会長サミットを開催し、津軽地域や秋田県県北の関係団体が一丸となって連携してプロモーションを推し進め、地域の発展に寄与することを期し共同宣言を行った。

また、観光客の誘客宣伝についても関係団体と連携を図りながら、まるごと青森や首都圏観光PR等のキャンペーンに参画した他、青森県知事と共に韓国、台湾などへプロモーション活動を行い外国人の誘客にも努めた。また、弘前市内で古くから行われている民俗的伝統行事やまつりの紹介、そして観覧を組み合わせた着地型旅行コースを新たに企画してツアーを実施し「弘前感交劇場」の定着に努めた。

外国人観光客等の受入態勢の基盤整備については、弘前市と共同で中国語の観光マップの作成や施設の多言語案内表示を進めたところである。

そしてまた永年の課題とされていた冬季観光の充実については、一昨年の北海道内各地の冬まつり研修視察を教訓に弘前雪明り実行委員会を組織し、新しい冬まつりとして「弘前雪明り」を開催し一定の評価を得たところである。

また、平成20年12月1日に新公益法人制度が施行されたことを受け、平成23年度新法人申請に向けての各種研修会に参加するなど、調査、検討を行った。

【公益事業の部】

I まつり推進事業

1. さくらまつり事業

平成21年度の弘前さくらまつりは、暖冬による早咲きとなり4月17日に標準木が開花し、開会式前日の22日に満開となった。その後低温が続く26日には雪交じりの天候となりさくらの見ごろは30日まで続いた。また、桜の早咲きに伴いまつりの会期を早め4月18日からまつりを実施し、観光客の受入体制を整えた。

- ・まつり期間 平成21年4月23日（木）～5月5日（火）
（平成21年4月18日（土）から準まつり体制に入る）
- ・人出（推定） 244万人（まつり期間） （対前年26万人増）
271万人（準まつり体制含む） （対前年21万人減）

(1) 演芸場運営事業

四の丸演芸場で津軽三味線、民謡、登山囃子等を披露し、訪れた観光客へ津軽の郷土芸能文化の紹介を行い、好評を得た。

(2) 広告宣伝事業

団体・企業・個人等から広告協賛を募り、弘前公園に「さくらまつりぼんぼり」486本を設置し、まつり情緒を演出した。

(3) 敷物貸出事業

本丸と二の丸で敷物（ゴザ）の貸出及び二の丸雨天休憩場の管理にあたり、観光客の利便向上に努めた。

- ・敷物貸出枚数 本丸 208枚（対前年17枚減）
二の丸 2,009枚（対前年573枚増）

(4) 車両整理事業

弘前公園周辺の空地や駐車場を借用し、臨時駐車場を開設。まつり期間中の交通渋滞緩和に努めた。

- ・車両駐車台数 13,417台（対前年2,700台増）

(5) 抹茶接待事業

弘前公園二の丸与力番所を使用し、市内茶道四流派の協力を頂き、観光客に抹茶の接待をサービスに努めた。

- ・利用者数 6,959人（対前年497人増）

(6) さくらまつり貸ボート事業

弘前公園西濠において、水上から桜を楽しんでいただく為に、貸ボート事業を行った。

- ・利用艘数 4,417艘（対前年49艘減）

2. ねふたまつり事業

平成21年度の弘前ねふたまつりのねふた運行団体数は、合同運行が実施された昭和50年以降では、過去最高の82団体を記録した。会期中の人出は、雨交じりの天候の影響もあり前年度を11万人下回る158万人に止まった。

- ・まつり期間 平成21年8月1日（土）～7日（金）
- ・人出（推定） 158万人（対前年11万人減）
- ・参加台数 82台（大型扇 59台 組 7台 小型扇 15台 担ぎ 1台）

(1) ねふた審査奨励事業

ねふたまつり参加団体に対し、企業、団体から奨励協賛金を募り参加奨励金を交付した他ねふたコンテストを実施した。今年度の県知事賞の組ねふたの部には8年ぶりに富田清水ねふた愛好会が選ばれ、扇ねふたの部には、7年連続で茂森新町ねふた同好会が選ばれた。

(2) ねふた観覧事業

観光客にねふたをゆっくり堪能していただく為に、観覧席をさくら大通り（1日から4日）とJR弘前駅前（5日、6日）の2ヶ所に設置し、観覧席券を市内観光案内施設とチケットぴあの観覧席予約システムを使い販売を行った。

- ・枚数観覧席利用者数 3,919人（対前年48人減）

3. まつり推進補助事業

弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつり、弘前雪明り等の各実行委員会に参画し、まつりの充実に努めた他、津軽地域一円で行われているまつりやイベントに協力や支援を行った。

II 観光施設管理事業

1. 観光施設受託事業

青森県観光連盟から青森県東京観光案内所、弘前市から弘前市観光案内所の管理運営業務の委託を受け、観光情報の提供に努めた。

(1) 青森県東京観光案内所運営業務

東京飯田橋にある青森県東京観光案内所に観光コンシェルジュを派遣し、首都圏にける青森県窓口として、青森県の観光情報の提供を行い誘客促進に努めた。

- ・平成21年度相談者数 2,500人 (対前年435人増)

(2) 弘前市観光案内所管理運営事業

JR弘前駅東西自由通路にある弘前市観光案内所で、旅行者が安心して弘前散策が出来るよう観光案内に努めた他、東北新幹線全線開業に向け、年始年末の開所を試みた。

また、前年度に引き続き駅からホテルへ手荷物配送サービスを行った。

- ・平成21年度利用者数 67,983人 (対前年2,109人減)
- ・手荷物配送サービス 35件 47個

2. 指定管理事業

弘前市から弘前市立観光館、弘前市りんご公園、弘前市まちなか情報センターの管理運営業務を受け、利用者に喜ばれる施設を目指して業務に努めた。

(1) 弘前市立観光館指定管理事業

旅行者が安心して弘前散策が出来るよう観光案内に努めた他、多目的ホール、研修室の貸室業務、観光館の施設機能を使った自主イベントを開催した。また、弘前市内4ヶ所(サイクルネットステーション)に観光貸自転車を設置し旅行者の市内散策の利便性の向上を図った。

- ・平成21年度入館者数 530,756人 (対前年33,723人減)
- ・サイクルネット利用台数 7,067台 (対前年 3,293台増)
- ・主な催事 短歌俳句川柳コンテスト ねふた絵描き方講習会(共催)
金魚ねふた作り方講習会(共催) ねふた囃子講習会 (共催)
ねふたミニ作品展(共催) 追手門広場イルミネーション

(2) 弘前市りんご公園指定管理事業

りんご生産日本一のPR施設として開設された弘前市りんご公園において、りんご文化の啓蒙とりんごの収穫体験をはじめとする各種生産体験を行う他、弘前りんごのPRに努めた。

- ・平成21年度入場者数 105,600人 (対前年13,400人減)
- ・主な催事 りんごあれこれ器展 (4月3日～20日)
津軽こぎん刺しとりんご草木染展 (4月24日～5月18日)
りんご公園絵画展 (5月1日～6月8日)
りんご花まつり (5月8日～17日)
りんごクラフト展 (6月12日～7月6日)
りんごステンドグラス展 (7月10日～7月27日)
りんごが素材の工芸展 (8月1日～24日)

四ツ屋窯展	(1月5日～2月7日)
ウィンターフェスティバル	(1月30日～31日)
りんご園のふくろうと小物展	(2月7日～3月14日)

(3) 弘前市まちなか情報センター指定管理事業

市民及び観光旅行者に各種情報と交流と休息の場の提供を行うと共に、中心市街地に賑わいを創出し活性化を図るために各種イベントを開催し、利用者に喜ばれる施設を目指し管理運営に努めた。

- ・平成21年度入館者数 46,423人 (対前年2,640人増)
- ・主な催事

第5回弘前さくらまつり書道展	(4月23日～5月5日)
期間限定特別放映昭和十年の観桜会	(4月23日～5月5日)
ALL LIGHTS キャットパト LIVLE	(6月21日)
ブラックイルミネーション 2009	(6月21日)
七夕ライトダウン	(7月7日)
夏期高校生アナウンス講座	(8月11日～8月15日)
お絵描き大会	(9月13日)
まちなかミュージックサロン「ストリートが呼んでいる」	(9月20日)
津軽ひろさき検定第3回初級試験過去問題展示	(11月10日～30日)
弘前大学ガラスハブ アンサンブル クリスマスキャロルコンサート	(12月19日)
ねふた絵・凧絵展示チャリティー販売会	(2月11日～14日)
津軽ひろさき検定第2回中級試験出題問題展示	(3月16日～31日)
春期高校生アナウンス講座	(3月29日～31日)

3. 指定管理自主事業 (公益)

指定管理施設の特性を活かしイベント等を開催し、施設の充実と利用率向上に努めた。

(1) 弘前市りんご公園指定管理自主事業

りんご公園内の旧農家住宅の活用と津軽文化の紹介を目的に、津軽語り部の会の協力により4月から12月までの毎週、土、日、祝日に、津軽弁による昔語りと津軽三味線のミニライブを実施した。

Ⅲ 観光推進事業

1. 観光推進事業

観光推進のため、下記事業を行い観光事業の振興に努めた。

(1) 観光宣伝事業

観光情報を各メディアやインターネットを使い全国に発信した他、弘前市と共同で弘前を紹介するパンフレットの作成を行った他、青森県や弘前市等で実施した観光キャンペーンに参加し、弘前の観光宣伝を行った。

また、今年度新たな事業として、当協会ホームページ上で広告事業 (バナー広告) を展開し好評を得た。

- ・主な参加キャンペーン
 - とことん青森2010 in 原宿 (1月23日)
 - 岡山弘前物産展観光キャンペーン (2月18日～21日)
 - なっちゃんワールド in 横浜観光キャンペーン (2月19日、20日)
 - JR 上野駅さくらまつり観光キャンペーン (2月4日、5日)
 - JR 横浜駅弘前観光キャンペーン (2月6日)

(2) 外国人観光客推進事業（インバウンド推進事業）

弘前を訪れる外国人観光客に対応するために、ガイドマップの多言語化の製作を弘前市と共同で進め今年度は、中国語ガイドマップを発行した他、当協会が運営している観光施設の案内板の多言語標記に改めた。また、昨年度に引続き青森県知事と共に11月には韓国、12月には台湾へ観光プロモーションを実施した。

(3) 観光サポーター事業

弘前を訪れる観光客やTV、CM、映画等関係者をサポートするために次の事業を行った。

- 1) 観光客等に観光ボランティアガイド団体の紹介と各観光ボランティア団体へ活動支援を行った。
- 2) FMアップルウェーブで毎週金曜日、当協会提供番組「みんなで創ろう弘前感交劇場」を放送し、津軽においての観光イベント情報や観光に携わる人たちに出演していただき、観光に対する市民意識の向上とおもてなしの心の高揚に努めた。
- 3) 弘前などで撮影された下記のテレビCM、ドラマ等のロケの協力や支援を行った。

・平成21年度の主なロケ支援実績

- 4月 ドキュメンタリー映画「流れ者の東京/清順かく語りき」
- 4月 NHK『名曲アルバム』～津軽じょんから節
- 5月 テレビ朝日・土曜ワイド劇場「特急かもしか2号殺人事件」
- 6月 BS日テレ「自転車倶楽部～青森～」
- 9月 TBS水曜劇場「浅見光彦～最終章～」第1話
- 10月 テレビ東京「いい旅・夢気分」3時間スペシャル

- 4) 弘前感交劇場サポーターズクラブ「さくら」に在京弘前出身者をはじめ、全国の弘前出身者並びに弘前の応援者の方々に加入いただき、弘前の観光振興への協力態勢作りを行い、全国的なネットワークの強化に努めた。 会員数： 323名

(4) 観光推進助成事業

行政機関や青森県観光連盟等が実施する観光事業に協力を行った他、民間団体が開催したイベント等に協力、支援を行い観光事業の活性化の推進に努めた。

2. 観光活性化事業（東北新幹線全線開業に向けた観光活性化事業）

今年12月に東北新幹線全線開業に向けた、東北新幹線効果活用フォーラムや講演会を開催した他、津軽地域と秋田県県北が連携し観光事業を推進するために「津軽地域観光協会会長サミット」を開催した。

・開催したフォーラム、講演会、サミット

8月27日 「2002年八戸駅開業時の取組について」

講師 (社)八戸観光コンベンション協会 会長 笹垣正弘氏

11月5日	「新幹線の開業効果とその影響」	講師 (財) 青森地域社会研究所 地域振興部長	竹内 慎司氏
	「人を集める奇跡のリンゴ」	講師 (株)木村興農社 代表取締役	木村 秋則氏
11月27日	「新幹線全線開通の誘客戦略とその対応策」	講師 (株)JTB東北 弘前支店長	高橋 義孝氏
	「東北新幹線全線開通がもたらすもの」	JTSみちのく(株) 代表取締役社長	小笠原 潤氏
		講師 JR東日本秋田支社 営業部長	加茂 義尚氏
1月29日	津軽地域観光協会会長サミット		
	(社)黒石観光協会	会長	村上 信吾氏
	平川市観光協会	会長	小田桐 信勝氏
	大鰐温泉観光協会	会長	山口 多喜二氏
	目屋観光協会	会長	関 和典氏
	岩木山観光協会	会長	三上 千春氏
	(社)大館市観光協会	会長	石田 雄一氏
	藤崎町企画課	課長	小杉 利彦氏
	田舎館村産業課	課長	福士 勝彦氏
	(社)弘前観光コンベンション協会	会長	清藤 哲夫

3. 「世界自然遺産白神山地」の観光推進事業

「世界自然遺産白神山地」の情報発信を行い誘客に努めた。

IV コンベンション事業

1. コンベンション事業

(1) 開催支援事業

平成21年度は、34件(参加者約12,000人)のコンベンション開催に対し次の開催支援を行なった。

・開催支援内容	パンフレット、コンベンションバックの提供	
	コンベンションバック	7,990枚
	2009ガイドひろさき	3,110冊
	弘前ガイドマップ	2,410冊
・青森県コンベンション開催助成金		
	交付件数 8件	交付額 4,800,000円

(2) 誘致事業

国際ミーティング・エキスポ(IME2009)へ青森県観光連盟と県内4ビューロー共同で出展。東北新幹線全線開業による交通アクセスの飛躍的な利便性向上と世界自然遺産「白神山地」や築城400年を迎える弘前城等の県内観光宣伝と青森県コンベンション開催費助

成金の紹介、コンベンション開催支援体制や新規ホテルの開業によるコンベンション参加者の受入態勢の充実をPRし、コンベンション情報の収集と先進ビューローとのネットワークの構築を図った。

- ・国際ミーティング・エキスポ（IME2009）出展

期間中約300名が訪れ、34団体の企業、学会関係者と商談を行った。

開催日 平成21年11月7日（月）～10日（木）

開催場所 東京国際フォーラム 来場者数 2,956名

- ・首都圏にある下記学会事務局を訪れ、誘致活動を行った。

社団法人 人工知能学会、社団法人 溶接学会、精密科学技術ネットワーク

社団法人 精密工学会、社団法人 日本ガスタービン学会

- ・弘前市内大学の訪問

学術会議の誘致に向け、弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学を訪問し、基礎的情報の収集に努めた。

（3）情報収集事業

青森県観光連盟コンベンション部会に参画し、青森県内のコンベンションビューロー専門会議や2月に東北コンベンション連絡協議会研修会に参加し情報収集等を行った。

V 地域活性化事業

1. 地域活性化事業

観光意識の向上と人材育成を行った他、地域の情報を全国に発信する為にインターネット情報の一元化とそのシステムの構築を行い、津軽地域の観光産業の発展と地域経済の振興を目指し地域の活性化に努めた。

（1）津軽ひろさき検定事業

弘前を中心とした周辺地域に関する歴史・文化・産業・地理・人々の暮らしなどの学習を通じて、津軽ひろさきの魅力を観光客や全国の方々へおもてなしの心を持って紹介できる人材を育成することを目的に津軽ひろさき歴史文化観光検定（通称：津軽ひろさき検定）第3回初級試験及び第2回中級試験を開催した。第3回初級試験からチーム対抗戦「おべさまカップ」を開催、検定の新しいスタイルを模索した。

- ・第3回初級試験 試験日 平成21年11月8日（日）

弘前会場 弘前大学総合教育棟／東京会場：大橋会館（東京都目黒）

受験者数 168人 合格者数 132人 ※合格率 78.6%

- ・チーム対抗戦結果 第1位 北星交通 西の郭

- ・第2回中級試験 試験日 平成22年3月14日（日）

弘前会場 弘前市文化会館／東京会場 大橋会館（東京都目黒）

受験者数 137人 合格者数 60人 ※合格率 43.7%

（2）出版事業

津軽ひろさき検定公式テキストブックの副読本と弘前市における大化の改新から、現代までの歴史を中心に、各時代の日本の出来事・世相・物価・人々の暮らしぶりなどについて、古

地図や、約 600 点の写真を交え紹介した他、2011年の弘前城築城400年の資料として、『津軽ひろさき・おべさま年表』の発行とその他、弘前市と共同で『弘前ガイドマップ』と『2009ガイド弘前』を製作し発行した。

(3) 地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）

弘前市雇用機会増大促進協議会から委託を受け、地域の雇用機会の拡大、人材の育成、求職者の就職促進等の雇用対策を支援するために下記の事業を実施した。

1) インバウンド観光セミナー

外国人旅行者が安心して街を観光することが出来る環境づくりをテーマに、全国の訪日外国人旅行者の動向を把握し、弘前地区の今後の誘客、受入戦略の方向性を考えるとともに、外国人観光客が当地を訪れた際、見やすく、分かりやすく、利用しやすいパンフレットやホームページ、施設のサイン板等の多言語化（外国語表示）の必用性について学習する機会を創出することを目的に下記セミナーを実施した。

① 平成22年2月10日（水） 『訪日外国人の動向と今後の誘客・受入戦略について』

講師 日本政府観光局（JNTO）企画本部 企画部 観光情報センター長 塚本 恭丈 氏

② 平成22年2月17日（水）

『パンフレット、サイン板などの多言語化（外国語表示）について』

講師 社団法人 青森県観光連盟国際観光サポートアドバイザー ユン ソンボム 氏

2) フィルムツーリズムセミナー

2010年に当地でロケ、2011年3月に全国公開を予定している映画「津軽百年食堂」の制作者をお招きし、本作品の製作を通して、映像制作に携わる人材育成とその雇用機会の創出を目的に、セミナーを実施した。

① 平成22年2月20日（土） 『映画製作について』

講師 映画 「津軽百年食堂」 プロデューサー 林 哲次 氏

映画 「津軽百年食堂」 監督予定者 前田 哲 氏

② 平成22年2月21日（日） 『津軽百年食堂』のロケについて

講師 映画 「津軽百年食堂」 プロデューサー 林 哲次 氏

映画 「津軽百年食堂」 監督予定者 前田 哲 氏

3) 観光ガイド・プランナー養成講座

2010年の東北新幹線全線開業をはじめとする交通形態の変化により増加が見込まれる観光客への多種・多様なニーズに対応ができ、津軽・弘前ならではの地域素材をいかした旅行商品（プラン）をコーディネートできるガイド・プランナーを養成することを目指し、将来的にフリーのガイド、コーディネーターを志す方、または、起業、NPO団体等のグループ設立を志す方に、必用な情報や知識を習得していただくことを目的に下記講座を実施した。

① 平成21年10月21日（水） 『ご当地グルメについて』

講師 （社）青森県観光連盟誘客宣伝課 課長代理 斎藤 直樹 氏

② 平成21年10月28日（水） 『中心商店街とその境界の歴史・エピソードについて』

講師 弘前市商工観光部 弘前城築城400年推進室 参事 宮川 慎一郎 氏

③ 平成21年11月4日（水） 『観光のおもてなしについて』

講師 青森県観光ボランティアガイド連絡協議会 会長 中谷 敏右 氏

- ④ 平成21年11月18日(水) 『観光ガイドの演出あれこれ』
講師 (社)弘前観光コンベンション協会 企画開発部長 坂本 崇
- ⑤ 平成21年11月25日(水) 先進地の事例①「別府オンパクに学ぶ」
講師 別府温泉 (株)鶴田ホテル 代表取締役社長 鶴田 浩一郎 氏
- ⑥ 平成21年12月2日(水) 『弘前の偉人について』
講師 偉人研究家 広瀬 寿秀 氏
- ⑦ 平成21年12月5日(土) 先進地の事例②「長崎さるくに学ぶ」
講師 長崎さるく市民プロデューサー 川良 真理 氏

4) 観光サポート人材育成講座

観光客が安心して、弘前散策を楽しむ環境づくりを目的に弘前の観光をサポートする人材の育成を目指し、将来的に起業、NPO団体等のグループ設立を志す方、観光関連施設、宿泊施設に就職を希望する方たちへ、必要な情報や知識を習得していただくことを目的に下記講座を実施した。

- ① 平成22年1月19日(火)
『新幹線がやって来る～心で感じ、
人々と交わる新しい旅のスタイル「弘前感交劇場」とは～』
講師 弘前感交劇場推進委員会 事務局 桜田 宏 氏
- ② 平成22年1月21日(木)
『接客窓口は弘前の代表者～旅人が話しかけやすい雰囲気づくり～』
講師 (株)セミナー青森 チーフ専任講師 鎌田 昌子 氏
- ③ 平成22年1月26日(火)
『弘前らしい「おもてなし」の心～旅人の気持ちになって考えてみよう～』
講師 青森県観光ボランティアガイド連絡協議会 会長 中谷 敏右 氏
- ④ 平成22年1月28日(木)
『旅人が安心して歩ける観光地を目指して
～点検！ 救急時の備え、心構えが出ていますか？～』
講師 特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構

(4) 観光情報発信事業

津軽地域の観光情報を収集し、当協会ホームページに掲載を行った他、各観光団体のホームページの一元化に向けた調査、研究に努めた。また、当協会会員のメールアドレス調査を実施し回答のあった183会員にコンベンション開催情報、津軽地域のイベント情報、さくらの開花情報等の観光情報「観コンめーる」の配信事業を立ち上げた。

- ・弘前観光コンベンション協会ホームページ (<http://www.hirosaki.co.jp/>)
平成21年度アクセス数 1,102,921件 (対前年33,180件増)
- ・携帯電話ポータルサイト「Ring-0」(<http://www.ring-o.jp>)
平成21年度アクセス数 1,548,274件 (対前年911件増)

【収益事業の部】

I 観光施設管理事業

1. 指定管理施設自主事業

指定管理施設の特性を活かした、下記の収益的事業を実施した。

(1) 弘前市立観光館自主事業

追手門広場の有効活用を目的に平成2年から開催し定着した「追手門広場フリースタイルマーケット」を開催した。また、観光館インフォメーションにおいて観光イベントチケット等の販売を行った他、新たに携帯電話充電器を設置し観光客への利便性の向上に努めた。

・フリースタイルマーケット 5月～12月 計9回開催 総出店者数395軒

・プレイガイド事業 取り扱いチケット件数10件

(弘前市民花火の集い、ファッション甲子園、大相撲弘前場所、The・津軽三味線他)

(2) 弘前市まちなか情報センター指定管理自主事業

施設の特性を活かし各種イベント等のチケット取り扱いと交流と休息の場として軽食喫茶店「カフェ セルクル」の営業を行った。

・プレイガイド事業 取り扱いチケット件数20件

(弘前市民花火の集い、ファッション甲子園、大相撲弘前場所、The・津軽三味線他)

II 観光サービス事業

1. 観光サービス事業

弘前市の観光施設等で、休息の場として喫茶の開設と郷土の物産等の紹介や販売を行った他、新しい観光商品の開発に努めた。

(1) 藤田記念庭園喫茶事業

藤田記念庭園内の洋館で、喫茶、売店を行い来園者に大正ロマンに浸るひと時を提供した。

(2) 観光施設自販機販売事業

弘前市立観光館、弘前城植物園等にジュース等の自動販売機を設置した他、弘前公園本丸に望遠鏡を設置した。

(3) 弘前市弥生いこいの広場売店事業

岩木山麓にある弘前市弥生いこいの広場で、食堂と売店を行い来場者の利便を図った。

(4) 弘前市りんごの公園売店事業

りんご公園内のりんごの家で、りんごにこだわった軽食や物産の販売を行った。また、今年度は、りんご冷やしラーメンの開発を行い、昨年のりんごラーメンに引き続き話題となった。

(5) ふるさと商品宣伝販売事業

全国にインターネット(楽天ショップ)を使いふるさとのりんごや物産の紹介と販売を行った。

(6) 観光商品開発販売事業

コンベンションや各種イベント開催時に、りんごやりんごの加工食品並びに伝統工芸品等の出張販売を行った他、新商品として弘前公園のさくらの絵葉書の制作販売を行った。

2. 旅行業事業

「弘前感交劇場」をキーワードに着地型旅行商品の造成、販売とコンベンション開催時の参加者のサポートを行った。

(1) 着地型旅行商品企画販売事業

「弘前感交劇場」着地型旅行商品を造成した他、市内各地で行われている古くからの民俗伝統行事やまつりを着地型旅行商品として販売するための調査を実施し、平成21年度は、「相馬のろうそくまつり」のツアーを実施した他、隣接する市町村を組合せたモニターツアーを実施し好評を得た。また教育旅行の体験学習メニューとして定着した禅林街での座禅体験と旅市（JR企画）の手配業務を行った。

(2) 旅行商品開発販売事業

津軽三味線全国大会、ファッション甲子園、各種コンベンション他の手配を行った。

【その他の事業】

1. 友好都市盟約を結ぶ斜里町で行われた「津軽藩士殉難慰霊祭」「しれとこ斜里ねぶたまつり」と群馬県太田市「尾島ねぶたまつり」に参加し友好を深めた。
2. 2011年に弘前城築城400年を迎えるにあたり、弘前市と関係団体で組織する弘前城築城400年祭実行委員会に参画した。
3. 大相撲弘前場所開催のため組織された福祉慈善事業大相撲弘前場所実行委員会に参画し、協力支援を行った。
3. 青森県人会や在京同窓会の方々と弘前商工会議所と合同で10月に交流会を開催し交流を深めた。
4. 当協会が参画する下記の団体、委員会の事務局業務を務めた。

弘前ねぶた保存会

津軽情っ張り大太鼓保存後援会

弘前城菊と紅葉まつり運営委員会

津軽ひろさき冬の旅実行委員会

中弘南黒地区日韓親善協会

弘前雪明り実行委員会

駅弁・空弁・津軽弁実行委員会

新幹線開業対策委員会

【主催、共催並びに主な諸行事】

- | | | |
|----|-----|----------------------------------|
| 4月 | 1日 | 青森県観光連盟理事会、総会 |
| | 12日 | 第25回弘前城ミス桜コンテスト |
| | 18日 | 弘前公園西濠ポート場開き |
| | 22日 | 大相撲弘前場所実行委員会 |
| | 23日 | 弘前さくらまつり（～5月5日まで）※18日からまつり体制に入る。 |
| 5月 | 8日 | りんご花まつり開会式 |
| | 9日 | 津軽路ロマンツーデーマーチ |
| | | 観光貸自転車サイクルネット開始（～11月8日まで） |
| | 14日 | 弘前城築城400年祭実行委員会 |

- 青森県観光連盟理事会、総会
- 1 7 日 追手門広場フリースタイルマーケット（～10月まで毎月第3日曜日開催）
- 6 月 5 日 レッツウォークお山参詣実行委員会
- 1 0 日 平成21年度青森県コンベンション助成金交付説明会
- 1 3 日 金魚ねふた作り方講習会
- 1 4 日 ねふた絵描き方講習会
- 2 8 日 第10回よさこい津軽
- 7 月 5 日 青森県観光連盟教育旅行誘致事業(北海道 ～9日)
- 6 日 弘前ねふた保存会 総会
津軽情っ張り大太鼓保存後援会 総会
弘前ねふた囃子講習会(～10日まで)
- 7 日 弘前ねふたまつり安全祈願祭並びに先人感謝祭
- 1 3 日 ねふたまつりコンテスト審査委員会
- 2 2 日 弘前城菊と紅葉まつり運営委員会
- 2 3 日 第37回 津軽藩士殉難慰霊祭並びに斜里ねふた運行
- 8 月 1 日 弘前ねふたまつり（～7日）
- 1 2 日 大相撲弘前場所
- 1 4 日 第31回 尾島ねふたまつり
- 2 3 日 ファッション甲子園
- 2 7 日 新幹線効果活用フォーラム
- 9 月 1 8 日 レッツウォークお山参詣
- 2 5 日 中弘南黒地区日韓親善協会 総会
- 2 9 日 みちのく五大雪まつり推進協議会
- 3 0 日 津軽三味線実行委員会
- 1 0 月 4 日 アップルマラソン大会
- 1 1 日 弘前スポレク祭
- 1 6 日 津軽の食と産業まつり
- 2 3 日 弘前城菊と紅葉まつり開会式（11月8日まで）
- 2 7 日 在京弘前関係者懇談会（東京渋谷）
- 3 0 日 あおもり特産物産展（青森県人会）
- 1 1 月 5 日 東北新幹線全線開通効果活用講演会
- 6 日 青森 DC 推進委員会設立総会
- 7 日 在京津軽・出身者との第3回弘前活性化意見交換会
- 8 日 津軽ひろさき検定第3回初級試験
日韓交流親善及びインバウンド観光推進 韓国訪問
- 1 2 日 弘前城雪燈籠まつり運営委員会
弘前雪明り実行委員会
- 1 5 日 りんごと米の収穫祭（りんご公園）
- 2 7 日 東北新幹線全線開業効果活用フォーラム

- 12月 7日 I M E 2 0 0 9 (~ 1 0 日)
- 12月 9日 旅市びゅうプラザ商談会
 - 12日 ザ・津軽三味線
 - 20日 青森台湾プロモーション事業 (~ 2 3 日)
- 1月 1日 除夜太鼓
 - 28日 津軽地域観光協会会長サミット
弘前観光コンベンション協会新春祝賀会
 - 30日 弘前市りんご公園 ウィンターフェスティバル(~ 3 1 日)
- 2月 3日 駅弁・空弁・津軽弁実行委員会設立総会
 - 5日 青森県&鹿児島県観光セールス
 - 11日 弘前城雪燈籠まつり
弘前雪明り (~ 1 4 日)
 - 17日 東北コンベンション連絡協議会研修会
 - 18日 岡山物産観光キャンペーン (~ 2 1 日)
 - 19日 ナッチャンワールド i n 横浜観光展(~ 2 0 日)
 - 27日 弘前、大鰐、西目屋モニターツアー
 - 28日 相馬沢田ろうそくまつりツアー
- 3月 4日 JR 上野駅さくらまつりキャンペーン(~ 5 日)
 - 7日 JR 横浜駅弘前観光キャンペーン
 - 14日 津軽ひろさき検定第2回中級試験
弘前、西目屋モニターツアー
 - 20日 大鰐、碓ヶ関モニターツアー
 - 24日 黒石、田舎館モニターツアー

- ・会 員 数 6 9 2 名 (内法人会員4 2 0 名・個人会員2 7 2 名) = 1 , 2 8 9 口
- ・役 員 数 2 9 名 (会長1 名、副会長4 名、専務理事1 (常勤) 名、常務理事1 名、理事2 0 名、監事2 名)
- ・職 員 数 4 2 名 (事務局長 (兼専務理事) 1 名、部長3 名、課長1 名、係長1 名、主査1 名、主事5 名、弘前市観光案内所4 名、弘前市立観光館8 名、弘前市りんご公園8 名、まちなか情報センター6 名、他臨時職員3 名、パート1 名)
- ・会 議 数 (1) 総会2 回 (通常総会 5 月、臨時総会 平成2 2 年3 月)
(2) 監査会 1 回 5 月
(3) 三役会 延べ2 0 回及び理事会 延べ1 2 回
(4) 各部会 ① 総務部会 9 回 ② 新幹線効果活用・インバウンド[®]推進部会 4 回
③ まつり検討部会 9 回 ④ ホスピタリティ向上推進部会 6 回
(5) その他の会議 ① 会報発行プロジェクト会議 8 回
② 津軽ひろさき検定関連会議 5 回
③ その他関係会議 2 2 7 回